



プラチナコガネの仲間

中米・コスタリカで見られるプラチナコガネ。キラキラし過ぎて機材が写りこんでしまうので撮影が難しい。



メノウツノゼミの一種

ペルー産のツノゼミの仲間。えぼし部分にはトゲがある。このような小さな虫は展足が難しく、四苦八苦しているそうだ。



クロスジクワガタコガネ

マレーシア産。その名の通り、クワガタムシのような大あごをもつコガネムシ。大あごはちゃんと動き、はさめる。

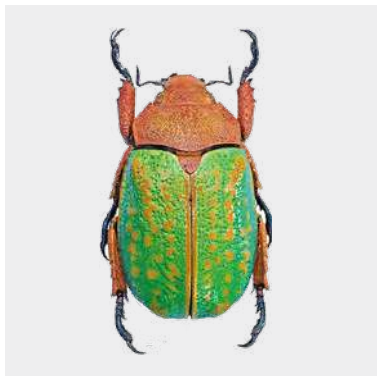
モルフォチョウ

中・南米のモルフォチョウ属のチョウ類の総称。多くの種類は青く金属的に輝く。



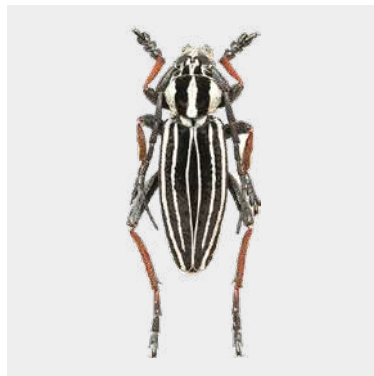
うみねこ博物館の標本箱

世界の美しい昆虫たち



ビクトリーナウグイスコガネ

茶色と緑のツートンカラー。ウグイスコガネのなかでも特に大型の種。



ヒサゴカミキリの仲間

後翅が退化した飛べないカミキリムシ。ユーラシアにたくさんの種類がいる。おしゃれな模様が魅力。



ニセカラカネハンミョウの一種

西オーストラリア産の美しいハンミョウ。約23mm。塩湖の周辺の砂地という過酷な環境に棲む。



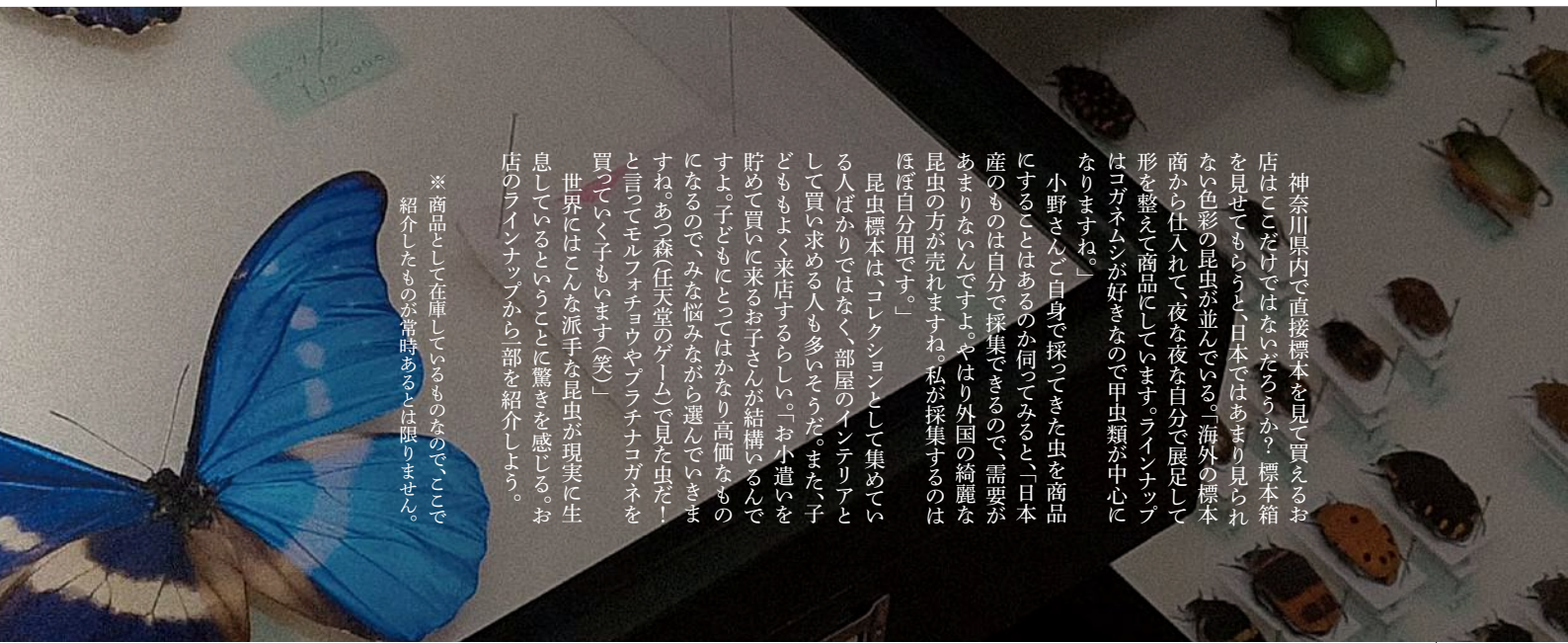
マダガスカルのもじゃもじゃゾウムシ
地衣類に擬態している、きてれつな姿のゾウムシ。生えている毛はやわらかい。約25mm。



アシナガミドリツヤコガネ
メタリックグリーンに輝く、大型で美しいコガネムシ。オスの後ろ脚は太く長い。生息地では、先住民が工芸品の材料として使う。



オオホウシャアヤヒシムネハナムグリ
メキシコ産。流通数の非常に少ない珍品。約26mm。ピロード調の体に、黄色い放射状のラインが走る。



※商品として在庫しているもので、ご紹介したものが常時あるとは限りません。

神奈川県内で直接標本を見て買えるお店はここだけではないだろうか？ 標本箱を見せてもらうと、日本ではあまり見られない色彩の昆虫が並んでいる。「海外の標本商から仕入れて、夜な夜な自分で展足して形を整えて商品にしています。ラインナップはコガネムシが好きなので甲虫類が中心になりますね。」
小野さんご自身で採ってきた虫を商品にすることはあるのか伺ってみると、「日本産のものは自分で採集できるので、需要があまりないんですよ。やはり外国の綺麗な昆虫の方が売れますね。私が採集するのはほぼ自分用です。」
昆虫標本は、コレクションとして集めている人ばかりではなく、部屋のインテリアとして買い求める人も多いそう。また、子どももよく来店するらしい。「お小遣いを貯めて買いに来るとお子さんが結構いるんですよ。子どもにとってはかなり高価なものになるので、みな悩みながら選んでいきますね。あつ森(任天堂のゲーム)で見た虫だ！と言ってモルフォチョウやブラチナコガネを買っていく子もいます(笑)」
世界にはこんな派手な昆虫が現実には生息しているということに驚きを感じる。お店のラインナップから一部を紹介しよう。



オオキシイの仲間
ジャワ島産のオオキシイ科の甲虫。約17mm。日本のオオキシイは地味だが、世界にはこんな派手な種もいる。



ルデックアシナガコガネ
メキシコ産。オスの後ろ脚は長く発達し、トゲもある。前脚の長いテナガコガネとは逆で面白い。



ヒジリタマオシコガネ
ファーブルの昆虫記で有名になったフコロガシ。スカラベといえば、やはりこの種。学名(種小名)の sacer は「神聖な」の意。

湘南発 みんなでつくる!

生きもの図鑑

2022-23年 12月～2月 冬

平岡幼稚園の園児・教職員と、地域の皆さんからの投稿
写真を季節毎に掲載する、タイムリーな生きもの図鑑です。

【図鑑の見方：① 場所・② 年月・③ 氏名】

※ 対象地域は神奈川県です。
※ 期間外の写真を掲載することもあります。
※ この図鑑は編集部で作成しています。誤りは判明次第訂正します。
※ 同定者名の記載のあるもの以外は編集部(堀田佳之介)が同定しており、性別や年齢は分かる範囲で付記しています。

どなたでも投稿できます

写真と「撮影年月日」「撮影場所」「発見者」を添えて、下記にてお気軽にお送りください。
種名が分からなくてもOKです。

送付先

投稿用メール QR コード
ikimono@hiraoka-kg.com



過去の記録検索

みんなで作る生きもの図鑑 索引
湘南自然誌 PDF 版



クロコノマチョウ

① 平岡幼稚園 同定：—
② 2022年12月中旬 備考：—
③ ばら組



クロスジギンヤンマ幼虫

① 平岡幼稚園 同定：—
② 2023年1月中旬 備考：口部の形状にて同定
③ 鈴木稜大



アキアカネ♂

① 平岡幼稚園 同定：—
② 2022年12月上旬 備考：—
③ 山口陽菜



マダラカマドウマ幼虫

① 平塚市方田 同定：—
② 2023年1月中旬 備考：—
③ 鶴田良一



クビキリギス♀

① 平岡幼稚園 同定：—
② 2022年12月上旬 備考：—
③ 志田啓悟



クビキリギス♀

- ① 平塚市万田 同定：—
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 鶴田航己



クビキリギス♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年1月下旬 備考：—
- ③ 田淵苺



ヒメクダマキモドキ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月上旬 備考：—
- ③ 石黒煌河



ヒメクダマキモドキ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 荒川碧



ツチイナゴ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年1月上旬 備考：落ち葉の中から
- ③ 荒井啓三 出てきた



ツチイナゴ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 田中勢



イナゴの一種

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：モズのはやにえ
- ③ 里山観察会参加者



コカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 永山祥悟



オオカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 石川暖



オオカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 田中勢



チョウセンカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 石川暖



ハラビロカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 日高志剛



ハラビロカマキリ卵鞘

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 福住夕希也



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 一瀬希織



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 高野瑞喜



ミンミンゼミ羽化殻

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 大島愛雛菜



キマダラカメムシ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年1月中旬 備考：国内外来種
- ③ 田中壱 落ち葉の下から出てきた



ツヤアオカメムシ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年1月下旬 備考：—
- ③ 荒井啓三



カブトムシ幼虫

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 田中勢



ヨツボシテントウダマシ

- ① 平岡幼稚園 同定：高橋和弘
- ② 2022年12月中旬 備考：標本により同定
- ③ 岩本菜子



ヨツボシテントウダマシ

- ① 平岡幼稚園 同定：高橋和弘
- ② 2022年12月中旬 備考：標本により同定
- ③ 大木優芽



ナナホシテントウ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年1月下旬 備考：—
- ③ 小川夢結



ナミテントウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：集団越冬
- ③ 里山観察会参加者



ナガゴマフカミキリ死体

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：ボーマリア菌に感染
- ③ 露木和男



ヒロバフユエダシヤク♂

- ① 平塚市万田 同定：坂本繁夫
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



ヒロバフユエダシヤク♀

- ① 平塚市万田 同定：坂本繁夫
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 鶴田良一



シモフリトゲエダシヤク♂

- ① 平塚市万田 同定：坂本繁夫
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田佳之介



シモフリトゲエダシヤク♀

- ① 平塚市万田 同定：坂本繁夫
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



クロテンフユシヤク♂

- ① 平塚市万田 同定：—
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



ウスモンフユシヤク♂♀(交尾)

- ① 平塚市万田 同定：坂本繁夫
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 堀田佳之介



ヒメエグリバ幼虫

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2023年12月上旬 備考：—
- ③ 石川穂菜



アケビコノハ

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 井上愛菜



ジャコウアゲハ蛹

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年1月上旬 備考：—
- ③ 堀田来佳



アゲハチョウ蛹

- ① 平塚市岡崎 同定：中村進一
- ② 2023年1月中旬 備考：—
- ③ 下田梨々美



モンキチョウ

- ① 平塚市北金目 同定：—
- ② 2023年1月下旬 備考：—
- ③ 小川夢結



モンシロチョウ蛹

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 里山観察会参加者



ウラギンシジミ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 荒佐助



ムラサキツバメ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 田中勢



ムラサキシジミ♀

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 新山みあり



ムラサキシジミ♀

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 志田啓悟



テングチョウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 里山観察会参加者



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 井上愛菜



サワガニ幼体

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月中旬 備考：—
- ③ 田村迅



ミスジマイマイ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年2月中旬 備考：—
- ③ 石川暖



ニホンアマガエル

- ① 平岡幼稚園 同定：—
- ② 2022年12月上旬 備考：—
- ③ 伊藤瀬南



アオダイショウ

- ① 平塚市土屋 同定：—
- ② 2023年1月上旬 備考：県 RDB 要注意種
- ③ 荒井啓三

INFO 訂正

Vol.27, P21, 1 段目左から 2 番目
誤) モンキチョウ
正) モンシロチョウ

お詫びして訂正します。
誤りを指摘いただいた神奈川
昆虫談話会の中村進一氏、牧林功
氏に感謝申し上げます。

DATA

創刊号からの累計
昆虫類 657 種 (New 1 種)
その他 210 種
になりました

※種名が判明したものに限り

END

ア ひらおか ようちえん クワシヨルポ-ト

2022-23. 12月～2月

地域の自然を
知ろう！
学ぼう！
伝えよう！

冬



フユシャクが飛び交う
森の向こうに広がる平塚の街
～湘南平より～



オス



①

メス



②



③

フユシャク観察会

● 湘南平

2023年1月20日(金) 17:30～19:00に、湘南平でフユシャク(冬尺)の観察会を行いました。フユシャクとは、冬に成虫が出現するシャクガ(尺蛾)の仲間の総称です。主に夜に活動するため、観察も夜間に行います。そのため、それほど人数は集まらないかと思っていたのですが、なんと！32名もの親子がこのガを見てみたいと参加してくれました。

安全に留意して夜の森へ入ると・・・オスがあちこちで飛んでいます。でも、メスはなかなか見つかりません。メスは翅(はね)が退化していて飛べないため、目立たないからです。

二日前の下見ではいくつか見つかったのですが、この日は1時間探しても見つかりません。もうダメかと、みんなが諦めかけたその時、「いたよ～！」参加者のお父さんが発見してくれました。見つかった本当に良かったです。

その後はみんなでメスの撮影会で盛り上がりました。寒い夜でしたが、元気に活動するフユシャクたちに大きな驚きを感じることができたのではないかなと思います。

- ① ヒロバフユエダシャク。メスは翅(はね)が退化して飛べない。
- ② 懐中電灯で照らしながら夜の森を探検。
- ③ 飛び交うフユシャクのオスを捕まえた子ども。



上 / ハルゼミは樹上高くにいることが多いので、姿が見られるのは稀。
 下左 / ハルゼミの脱皮殻。触角の第4節が太く長くなるのが特徴。
 下右 / 相模原市最大と思われるアカマツ林が広がる青根橋津原だが、マツ枯れが目立つ（茶色く見えるのは枯れたアカマツ）。

神奈川県内のハルゼミ調査 2020～2022年の調査結果を発表しました

ハルゼミは、マツ林に生息するセミで、春から初夏にかけて出現します。かつては県内の広い範囲に生息していたと考えられていますが、マツ枯れや開発により数を減らしています。そのため、園児と一緒に2015年より県内の生息状況を調べています。2020年～2022年に行った調査の報告が日本セミの会の機関誌CICADAに掲載されましたのでご紹介します。

2020年～2022年の調査で新たに12ヶ所で本種が見つかりました。2015～2019年の調査では23ヶ所であったので、通算すると35ヶ所で本種が確認できたことになります（本種の生息が確認できなかった場所は通算105ヶ所にのぼります）。また、本種が見つかった地点は箱根・丹沢・小仏など山地部に大きく偏り、山地部よりも平地部での衰退が顕著であることがわかってきました。

これらの調査結果は、現在改訂の準備が進められている神奈川県レッドデータブックの重要な基礎資料となります。園児たちの発見が、地域の自然のために、大きく役立ってくれています。

[文献情報]
 堀田佳之介, 2023. 神奈川県におけるハルゼミの生息状況調査(2020～2022年). Cicada, (29): 51-58.



冬の里山観察会 ●土屋里山体験フィールド

2023年2月11日(土)、平塚市土屋の里山体験フィールドで観察会を行いました。この時期の里山は、冬枯れ一色ですが、よく観察することで色々な面白さが見えてきます。

この日は、子どもたちが大好きな昆虫探しをしました。木の枝をよく見ると、チョウセンカマキリ、オオカマキリ、ハラビロカマキリの卵鞘が見つかりました。竹の資材置き場ではコカマキリの卵鞘も見つかり、カマキリ4種の卵鞘の形を観察することができました。また、枯れ草の中に隠れていたツチイナゴ、看板の裏に付いていたモンシロチョウの蛹、ベニヤ板の裏で集団越冬するナミテントウなどにも出会うことができました。他にも、テングチョウ、ウラギンシジミ、ムラサキツバメなど、成虫で越冬するチョウたちも見つかりました。

凍えるような日が続く2月の野外でも、寒さに耐えながら小さな命が力強く生きていることを皆で感じることであった観察会でした。

上左 / カマキリの顔に似るカラスウリの種子を観察 上右 / 里山の手作り遊具 中左 / モズのはやにえの観察 中右 / 快晴の空のもと冬の里山を進む 下左 / 今晚のおかずにとセリ摘みを楽しむ親子 下右 / オオカマキリ卵鞘 (その他の生きものは図鑑コーナーP11～13に掲載)

パネル展・発表会に参加

① ひらつか環境ファンクラブ パネル展

平塚市中央図書館ロビーで2023年1月24日(火)～29日(日)に開催された「ひらつか環境ファンクラブパネル展」に出展しました。

本園のパネルのテーマは「ビオトープ等による環境保全と、それらを利用した環境教育について」です。加えて、本誌のバックナンバーの頒布も行いました。

たくさんの人に見ていただけたようで、湘南自然誌も期間中何回も補充するほどの盛況ぶりでした。1人でも多くの人が地域の自然環境に興味を持っていただけたらと思っています。

※ひらつか環境ファンクラブとは、市内で活動する環境団体等が集う組織で、事務局は平塚市環境政策課です。

② 第16回 ひらつか環境ファンクラブ活動発表会

平塚市中央図書館ホールで2023年1月29日(日)に行われたひらつか環境ファンクラブの活動発表会に参加しました。

発表のテーマは「幼稚園児が行う昆虫の調査活動」です。これまで平岡幼稚園が行ってきた、生物の調査活動や、湘南自然誌の出版活動、園児が偶然見つけた新知見などを紹介しながら、園児が発見した生物データでもきちんとまとめれば地域の貴重な財産になりえるということをお話しました。

③ 第22回 さがみ自然フォーラム

2023年2月9日(木)～13日(月)に、厚木市のアミュあつぎで開催された第22回さがみ自然フォーラムに参加しました。

このフォーラムは、生物多様性の保全に関わる活動をするさまざまな団体が発表を行い、生物多様性や自然環境保全の重要性について、県民に理解を深めてもらうことを目的として毎年2月に実施されています(主催:厚木市と神奈川県自然保護協会、後援:神奈川県・神奈川県教育委員会ほか)。

昨年度はコロナによりVR(バーチャルリアリティ)での開催でしたが、今年度は例年通り皆さまに直接来ていただく形で開催されました。大人・子どもともに楽しめるワークショップも開かれ、県内の学校(幼稚園～大学)、自治体、市民団体、企業など様々な組織や団体により盛大に行われました。



- ①ひらつか環境パネル展
本園のブースに多くの方が立ち寄り、湘南自然誌も好評でした(平塚市中央図書館ロビーにて)。
- ②ひらつか環境ファンクラブ活動発表会
短い時間でしたが、園児たちの発見の成果についてお話ししました(平塚市中央図書館ホールにて)。
- ③さがみ自然フォーラム
平岡幼稚園が参加して5年目を迎えました。今年度は46団体が発表を行いました(アミュあつぎ・アートギャラリーにて)。



水玉の華

第11回 吉田先生編⑦ 心が育つ 幼児教育

文・写真 吉田 文雄

1943年生まれ。鹿児島大学卒。元小中学校理科教諭。公立中学校長を最後に定年退職。現在は神奈川県立愛川ふれあいの村学芸員。著書に、『あつぎ自然歳時記』（国書刊行会）、『自然は友だち 春夏編』（神奈川県新聞社）、共著に『学研の図鑑、植物』（学習研究社）などがある。

冬の自然から心温まる贈り物

ある冬の日、川沿いに続く登山道を友人と歩んでいると、遠くからミソザイの「チャツチャツ」と言う地鳴きが聞こえてきた。暖かい日なら、甲高い「ツルルルスビスピチュピチュピ」という調子のよいコーラスも聞けそうなのだが、今日は寒い。

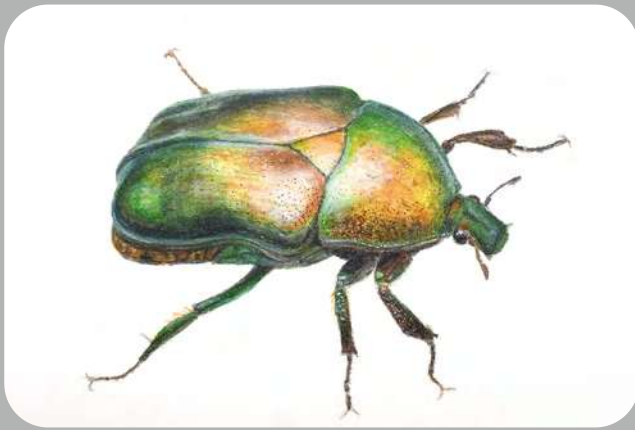
川の水面は波もなく、水底に見える青い凝灰岩がいつそう寒さを感じさせる。対岸を見ると岩の上を流れた水が凍りつき、長い氷柱となっていた。その先端は水面に届く所で透明になり、靴先のように折れ曲がっていて神秘的な姿をしている。

その美しさをカメラに収めようと夢中になっていたら、足が滑って川に落ちてしまった。幸い友人の手助けで川から脱け出ることができたが、足がジンジンする。カメラの方は、レンズカバーが割れたものの、少し濡れたくらいで無事だった。友人が靴下を貸してくれ、身も心も暖かくなり、不思議なことに勇気がわいてきた。

ふとキブシの枝を見ると、数滴の小さな水玉が目についた。接写してみようと一歩近づいた瞬間、レンズの先が枝に触れてしまった。あっ失敗した！と思って見ると、水玉はまだ残っていた。氷っていたため落ちなかったのだ。しばらく眺めていると、陽が差ってきて中の気泡が火花のように輝き出した。まさに自然の織り成す造形作品の逸品である。人の温かさで自然からの贈り物に感謝する一日となった。



上/川の氷柱 下/ミソザイ



第9回 知育ゲーム

出題：編集部 画：富岡誠一



カプソンの重さは、1円玉何枚と大体同じ重さでしょうか？

1円玉を手に乗せて予想してみよう。

- ① 1枚 ② 5枚 ③ 10枚

(答えは下)

Back Number

過去号閲覧

● **ダウンロード** 平岡幼稚園HPからPDFがダウンロードできます。

● **頒布** 無料で各号ひとり1部に限り、平岡幼稚園にてお渡ししています。(※ 要事前連絡)
ikimono@hiraoka-kg.com もしくは 0463-58-1188(担当:園長)まで

● **配架・所蔵** 以下の施設でも閲覧できます。

【図書館】 国立国会図書館(東京本館・関西館)、神奈川県立図書館、横浜市立中央図書館、平塚市中央図書館、平塚市南図書館、相模原市立図書館、茅ヶ崎市立図書館本館、大磯町立図書館、二宮町図書館、藤沢市総合図書館、藤沢市湘南大庭図書館、藤沢市辻堂図書館、横須賀市立中央図書館、座間市立図書館、鎌倉市図書館、横浜女子短期大学図書館、※厚木市立中央図書館、※綾瀬市立図書館、※秦野市立図書館 ※印は蔵書登録なし

【博物館等】 県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、横須賀市自然・人文博物館、相模原市立博物館、あつぎ郷土博物館、大磯町郷土資料館、愛川町郷土資料館、箱根町立郷土資料館、観音崎自然博物館

【その他】 神奈川県自然環境保全センター、神奈川県環境科学センター、県立秦野ビジターセンター、県立愛川ふれあいの村、県立足柄ふれあいの村、秦野市立くずはの家、平塚市子育て支援センター、平塚市環境保全課、平塚市立岡崎公民館、金沢自然公園ののはな館、箱根町立森のふれあい館、はこね・おだわら昆虫館、平塚市立びわ青少年の家、平塚市町内福祉村おかざき鈴の里、うみねこ博物堂



湘南自然誌 PDF版
hiraoka-kg.com/culture/



Publisher

発行元

HIRAOKA Kindergarten

平岡幼稚園



新山みあり 4歳

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園には、台地斜面から湧き水が染み出し、元々の表土も多く残されるなど、豊かな自然環境が保存されています。2009年より園地をビオトープにして、周囲に住む多様な生物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全するほか、生物の調査・研究活動も行っています。1967年開園、園地総面積7716㎡。

主な受賞歴

- 2014年 関東・水と緑のネットワーク拠点100選に選定
- 2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
- 2019年 かながわ地球環境賞(神奈川県)
- 2020年 日本生態系協会賞(公財・日本生態系協会)
- 2021年 地域環境保全功労者表彰(環境省)



website

Answer

知育ゲーム答え

答えは① 1円玉1枚くらい(約1g)

カプソンは見た目よりずいぶん軽く感じられますね。ちなみに、カプトムシのオスでも1円玉10枚(約10g)程度です。

参考文献：吉谷昭憲、『昆虫の体重測定』、福音館書店、2016

Editor's Note

編集後記

今回の特集は、いつもと少し趣向を変え、お店の紹介をしてみました。自然との関わり方は人それぞれ。「うみねこ博物堂」に並べられた、生きものモチーフの骨董品や、博物画、昆虫標本などに触れることで、自然の新たな魅力に気付くようなこともあるかと思います。今後も、自然にまつわる多様な特集を組んでいくつもりです。

嬉しいことに、本誌過去号が欲しいという方が増えてきました。まだ在庫はあります。お気軽にお問い合わせを。

最後に、生きもの同定に協力して下さいました諸先生方に感謝申し上げます。(富岡)



特集
18畳の不思議空間
うみねこ
博物堂

店主の小野さん

ときめくものを探してみよう